いしづち

愛媛労災病院広報紙第19巻第１号
（通巻第91号）
2020年１月５日発行
発行人：院長 宮内文久

理念

当院は働く人々のために、そして地域の人々のために信頼される医療を目指します

基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に推進していくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、以下のように宣言します。

【患者さんの権利】

１）人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
２）充分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の決定やセカンドオピニオンを希望する権利
３）個人に関するプライバシーを保護される権利

【患者さんの責務】

１）疾病や医療を理解するよう努力する義務
２）医療に積極的に取り組む義務
３）快適な医療環境づくりに協力する義務

新年明けまして おめでとうございます

病院長　宮　内　文　久

愛媛労災病院は昭和31年に誕生し、これまでに多くの方々に支えられてきました。この平成31年4月には病床数を199床にまで減らし、地域密着型病院へと大きく舵を切りました。現在は（1）整形外科・循環器内科を中心とした急性期医療、（2）地域包括ケア病棟を中心とした回復期医療、（3）産業保健への取り組みを積極的に推進しています。病院の態様はどのように変わろうとも、これからも愛媛労災病院は新居浜の地にあり続けます。そして、地域の皆様から頼りにされる病院、職員の皆様が楽しく働ける職場であるにはどうすれば良いかと、共に考え共に行動したいと思っています。病院には危険がいっぱいです、B型肝炎、C型肝炎、インフルエンザなど感染の危険は常につきまとっています。また、患者さんの誤認を防止しなくてはいけませんし、転倒・転落にも備えなくてはなりません。さらに、説明を尽くし、同意を得ない限り何もできません。それでも、私達はプロとしての誇りを胸に秘め、凛として患者さんに向かいたいと思います。同時に、現場にあっては奢り高ぶることなく、目線を低くして接していきたいと思っています。

ペースメーカ管理における
遠隔モニタリングシステムのご紹介 …… 2
14年ぶりにCT装置更新！ …… 3
北７階病棟紹介 …… 3
第６回 市民公開講座開催のお知らせ …… 4

ペースメーカ管理における遠隔モニタリングシステムのご紹介

循環器内科　大　宮　俊　秀

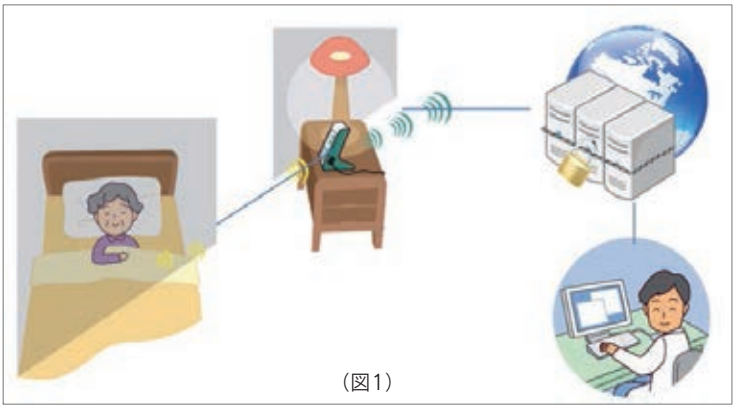
現在、日本では徐脈性不整脈の患者さんにペースメーカ植え込み術（新規および交換）が年間約６万例行われております。ペースメーカ治療を受けられた患者さんは半年に１度外来を受診しデバイスチェックを行い不整脈イベントの有無やデバイスの不具合の確認を行う必要があります。しかしこの方法では次回受診までの半年の間に起こった異常の早期把握は困難でありました。

そこで登場したのが遠隔モニタリングシステムになります。遠隔モニタリングシステムは患者さんのご自宅に専用の中継機器を設置し、電話回線などを通じて自宅から定期的にデバイスの情報を専用のサーバーへ送信し、医療機関側が情報を閲覧できるシステムとなります(図1)。送信されてくる主な情報は、バッテリー値、リード抵抗値、ペーシング閾値、頻脈性不整脈エピソードなど様々です(図2)。

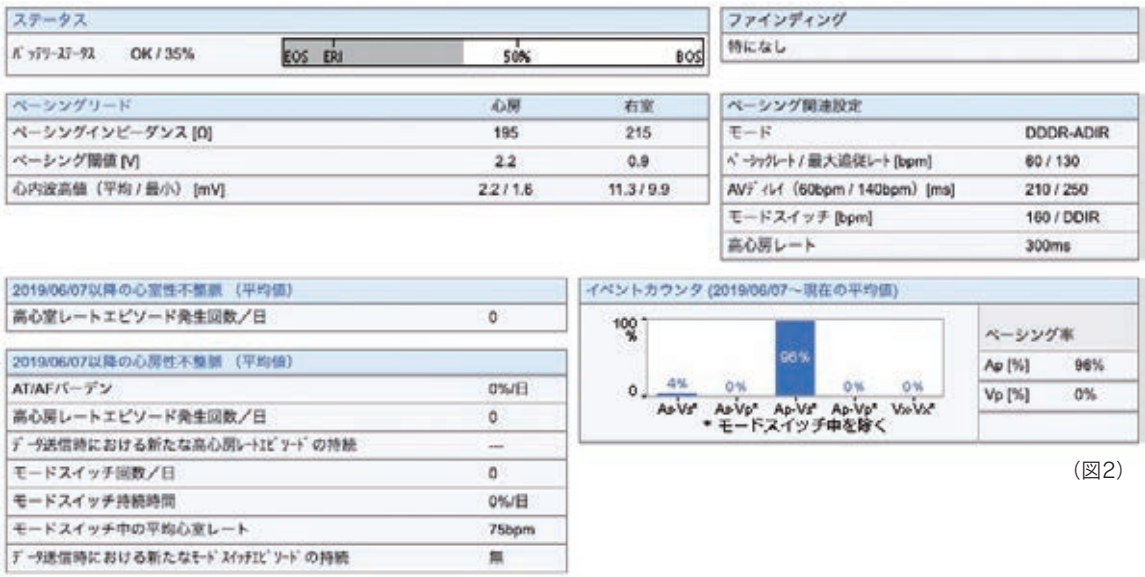
この遠隔モニタリングシステムは日本では2008年に導入され、当院でも2012年１月より導入を行なっており、現在30名ほどがこのシステムを利用されておられます。

遠隔モニタリングを利用することにより、植え込みデバイス外来の待ち時間短縮や外来受診間隔の延長、遠方で通院が困難な患者さんへの対応、病状悪化の早期発見などが期待されます。

このように非常に便利なシステムでデバイス外来管理業務の効率化にもつながりますが、医師のみでの対応には限界があり、当院でも臨床工学技士や看護師などとのチーム医療で対応を行っています。



（図1）



（図2）

14年ぶりにCT装置更新！

中央放射線部長　松　浦　直　行

中央放射線部は、1名の放射線科医師、10名の診療放射線技師(男性ばかり)、１名の女性事務員の計12名の職場です。日頃より早期診断、早期治療に役立つ様々な検査画像を、医師と緊密に連携し迅速かつ丁寧に提供しています。

今回、14年ぶりにCT装置更新を行いました。最新鋭のヘリカルCTです。低被ばく撮影、かつ、少ない造影剤での高画質な検査が可能になり精密かつ鮮明な立体画像で広範囲の病変観察が可能です。多様化する医療ニーズに応えるべく最新のアプリケーションを搭載しています。患者さんの負担軽減を今後も考え検査に取り組んでいきたいと思います。

私たち診療放射線技師は、これからもこれまで以上に、最新の医療技術を駆使して、地域住民の皆様のご期待に沿えるよう努力していきます。

キャノンメディカル社製80列ＣＴ：
「Aquilion Prime SP」

北７階病棟紹介

看護師長補佐　横　井　由　実

北７階病棟は、整形外科、内科、歯科・口腔外科の混合病棟です。整形外科では、高齢者の転倒時の骨折や、就労中の骨折や腱・神経損傷、内科では高齢者の誤嚥性肺炎や気管支炎などの緊急入院にも対応しています。また歯科・口腔外科では、白板症・舌癌手術など新しい治療が取り入れられています。その際は手術室と病棟で医師・看護師参加の勉強会を行い、安心・安全な看護の提供ができるよう努めています。

当病棟は、23名の看護師と看護補助者２名のスタッフで構成されており、病棟スタッフだけでなく、退院支援Nsやメディカルスタッフ（薬剤師、理学･作業・言語療法士、MSW）や地域とスクラムを組み、早期退院に向けて支援していきます。これからも、上記スタッフの他、認知症ケアや褥瘡ケア、NST等のケアチームメンバーとも協力し、ONE TEAMで患者さんの個別性に応じた看護が提供できるように取り組んでいきます。

第６回　市民公開講座開催のお知らせ

総務課　岸　本　侑　子

愛媛労災病院では、平成26年度より、新居浜市の共催を得て、新居浜市民を対象とした市民公開講座を開催してまいりました。これまでに、「新居浜市の医療を考えよう」、「災害医療について」、「地域の医療・介護を考える」、「口から考える健康」、「フレイル対策で健康寿命をのばそう」といったテーマをとりあげてきました。

第６回市民公開講座は、「今日からはじめる予防医療～いつまでも元気に暮らすために～」をテーマに開催いたします。「予防医療」とは、生活習慣を改善し、適切な運動によって健康的な身体を維持したり、健康診断や人間ドックで早期に異常を発見することにより、病気を未然に防ぐことだけでなく、仮に病気になっても早期に治療して重症化を防ぎ、さらには病気からの回復を早め、再発を防ぐことといわれています。

今年度は当院の医師や看護師に加えて、共催いただく新居浜市からも講師を迎え、「予防医療」についての６つの視点から講演を行う予定です。地域のみなさまと健康について考える場としたいと思っておりますので、たくさんの方のご参加をお待ちしております。

会　場

新居浜市市民文化センター　中ホール

日　時

令和２年１月25日㈯　13:00～15:30
（開場12:30～）

次　第

第１部　「骨粗鬆症を知り、骨折を予防しよう！」
「骨粗鬆症のお薬について」
「今日からできる健康な身体と環境づくり」

第２部　「生活習慣病と予防医療」
「健康を維持するための食生活について」
「健康診断の結果の見方について」

広報誌編集メンバー　**委員長**：福井副院長　**委員**：山田第2内科部長、今田看護副部長、荒井看護師長、山根看護師長補佐、横井看護師長補佐、加地看護師、大成薬剤師、西原作業療法士、正岡診療放射線技師、井上臨床検査技師、原田総務課長、岸本総務課員、中山診療情報管理士、玉井総務課員